

池野辺家族農園

～One melon for One smile～

こんにちは。池野辺家族農園です。優香メロン販売のお知らせです。優香メロンの栽培は今年で13年目となりました。栽培1年目、メロン2個分程の小さな赤ちゃんだった長女も中学生になり月日の経過を実感しています。

メロン栽培も年月を重ね試行錯誤を繰り返し、5年前の大きな失敗もなんとか乗り越えてきましたが、昨年、今まで一番悲惨な事態に陥っていました。全てのハウスで収穫直前に、葉がしおれ、実が成熟する前に苗が枯れてしまう病気が蔓延しました。毎日、あと数日持ちこたえて…と思いながら、緑の葉が黄色く萎れ、状況が悪化していくハウス内を見るたびに血の気が引いていく感覚が今でも鮮明に蘇ります。お待ちいただいているお客様にご迷惑をおかけし、家族に心配をかけ、情けなさと答えの見つからない絶望感で、さすがにもうメロンは辞めようと思いつながら枯れていく苗を見守ることしかできませんでした。

メロンの収穫時期が過ぎ、損失を補う他の作物を必死に育てながら気を紛らわし、“来年、メロンの代わりに何を育てよう”とあれこれ考えるのですが、最後は“なぜメロン作りが失敗したのか、解決策はないか”と考える日々が続きました。ある時、5年前と昨年の気象現象が似ていたことに気付き、そこを糸口に解決策を探していました。前年の残暑から短い秋を経て暖冬になると本来寒さで死滅するはずの悪性な菌が越冬し、次の夏に増加し苗を枯らしていると仮説を立てました。今年はハウスに入れる完熟堆肥に善良菌類を投入し、二段熟成した堆肥を使いました。さらに生育期間中のかん水(潤すための水分)にも菌類を混ぜて土壤環境が悪くならないようにしました。また、メロン苗とねぎ苗を混植して育てました。ネギの根に共生する微生物が抗生素質をだして、土壤の病原菌を減らす効果があると言われています。

さらに、種まきから苗を育てる育苗ハウス(通称:メロンの赤ちゃんのお家)も大きく立て直し、急な温湿度変化に対応できるようにし、成長中の苗に負担がかからないように対策しました。小さなハウスは寒い日の保温がしやすいというメリットがある分、晴れの日は温度上昇が早くあっという間に高温多湿になるというデメリットがありました。暖冬の年はこれが顕著に出るため、ハウスを大きくし

～One melon for One smile～

池野辺家族農園

～One melon for One smile～

過度な高温にならないようにして、丈夫な苗作りも心掛けました。考えられる解決策に全て挑戦して収穫の時期を迎えるました。どのような結果が出るか応援していただけたら嬉しいです。

昨年の秋冬、“メロンの代わりになる作物”を考える中、候補にあがる作物もいくつかありました。しかし、どうしても「優香メロン」に初めて出会った時の「わくわく感」が湧いてきませんでした。それは農業を通して、自分がやりたかったことが「優香メロン」なら出来るかもと農業の可能性が一気に広がった感覚でした。

他の作物ならスパッと切り替えることが出来ますが、どうしても諦めきれない想いがあります。今年のメロン栽培は私の完全な「わがまま」です。今年また結果がでない時には、来年度は別の決断をしなければと考えています。そんな覚悟を持った2025年のメロン栽培です。

「想い」のこもった優香メロンで今年もたくさんのご縁が生まれますように。ご自宅用、ご贈答用にお買い求めいただければ幸いです。

- 池野辺【ローカルな場所から】
 - 家族【最も小さなコミュニティを元に】
 - 農【尊い宮みで】
 - 園【大きな大きな縁】
- が出来ますように…



〒309-6012 茨城県笠間市池野辺1521-2

池野辺家族農園 山田拓史(ヤマダタクシ)

TEL: 090-7902-3395 FAX: 0296-73-5850

【HP】<http://ikenobekazoku.raindrop.jp>

【e-mail】tomodachi@ikenobekazoku.raindrop.jp